



## 良品計画 製品使用制限物質リスト

### 適用範囲

- ・アパレル(インナー含む)：体を守る、覆う、または飾ることを目的とした、衣類のこと。
- ・フットウエア：足を守る、覆う、または快適性を求めることを目的とした、耐久性のあるカバーのこと。
- ・アクセサリ(服飾雑貨、バッグなど)：持ち運ぶか、着用することで、アパレルを補足することを目的に作られた製品。
- ・ホームテキスタイル：家の中で、機能的または装飾的目的のために作られた製品。
- ・附属/副資材：包装資材を除く、全ての製品取付け資材類（縫製糸、ボタン、芯地、裏地、ファスナー、ケアラベル等）

※詳しい製品例はAFRIM RSLをご参照ください。

[https://afirm-group.com/wp-content/uploads/2023/03/2023\\_AFIRM\\_RSL\\_2023\\_0202a-JA.pdf](https://afirm-group.com/wp-content/uploads/2023/03/2023_AFIRM_RSL_2023_0202a-JA.pdf)

### SECTION 1：法規制により禁止または制限された規制物質

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>アセトフェノン と2-フェニル-2-プロパノール +</b>						
98-86-2	アセトフェノン	各50 ppm	ジクミルパーオキサイドを含む特定の架橋剤を使う際、EVAフォームの中に分解物として含まれる可能性があります。	アセトンまたはメタノールで抽出、GC/ MS、60℃で30分間超音波処理を行います。	各25 ppm	
617-94-7	2-フェニル-2-プロパノール					
<b>酸性とアルカリ性物質</b>						
NA	pH値	繊維：4.0 - 7.5 皮革：クロムなめし革：3.2 - 4.5 その他の革：3.5 - 7.0	pH値は固有の数値であり、pH1~14まであります。それらは製品の中に含まれる酸性、アルカリ性を間接的に示します。 pH値が7未満の場合は酸性の物質であり、7より大きい値はアルカリ性の物質であることを示しています。 皮膚への炎症や化学火傷を防ぐためには、製品のpH値は人間の皮膚の値である pH5.5 の範囲に入らなくてはなりません。 世界の規制に準拠し、皮革のなめし加工時に6価クロムが生成される可能性を最小限に抑えるため、引用した制限値を推奨しています。 重要：湾岸協力理事会(GCC)は、皮革のpH値が3.5を下回らないことを要求しています。	繊維および合成(人工)皮革： EN ISO 3071:2020 皮革：EN ISO 4045:2018	適用なし	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限值	2024/2/5
<b>アルキルフェノール(APs) + アルキルフェノールエトキシレート(APEOs) + (すべての異性体を含む)</b>						
多種	ノニルフェノール(NP)およびその異性体	APs合計: 10 ppm APs+APEOs合計: 100 ppm	APEOsは洗剤、精練剤、紡績用潤滑油、湿潤剤、柔軟剤、染色やプリントの分散剤や乳化剤、含侵剤、シルク生産における脱ガム、染料や顔料の調合剤、ポリエステル詰め物や、ダウン、フェザーなどで使用または検出されることがあります。 APsは、ポリマーを保護もしくは安定させるために使用されるAPEOsと酸化防止剤の生産の過程で中間体として使用されます。 APEOsがAPsに生分解されることは、環境におけるAPsの主な供給源です。 APEOsとAPEOsをその組成に含む製剤の使用は、サプライチェーンおよび生産工程において禁止します。 除去できないもしくは微量のAPEOsが100 ppmを超えて検出されることが認識されています。時間をかけてサプライチェーンからそれらを完全に除去していただきます	繊維と皮革: EN ISO 21084:2019  ポリマーおよび他の全ての材料: 1gサンプル/20 mL THF、70℃で60分間の超音波処理を行います。 EN ISO 21084:2019に準拠して分析します。	NPとOPの合計: 3 ppm	
多種	オクチルフェノール(OP)およびその異性体					
多種	ノニルフェノール エトキシレート(NPEOs)			皮革を除く全ての材料: EN ISO 18254-1:2016 LC/MSまたはLC/MS/MSを使用したAPEOの判定。	NPEOsとOPEOsの合計: 20 ppm	
多種	ノニルフェノール エトキシレート(NPEOs)					

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	
<b>アゾ-アミン類 + とアリルアミン塩</b>						
92-67-1	4-ピフェニルアミン	各20 ppm	アゾ染料および顔料は、1種類もしくは数種のアゾ基(-N=N-)が芳香族化合物と結合した染色原料です。 アゾ染料は数千種類も存在するが、リストにある分解により開裂されたアミンを生成するものだけが制限されます。 それらのアミンを放出するアゾ染料は規制され、現在では繊維の染色には使用すべきではありません。	皮革を除く全ての材料： EN ISO 14362-1:2017  皮革：EN ISO 17234-1:2020  p-アミノアゾベンゼン： 皮革を除く全ての材料： EN ISO 14362-3:2017  皮革：EN ISO 17234-2:2011	各5 ppm	
92-87-5	ベンジジン					
95-69-2	4-クロロ-o-トルイジン					
91-59-8	2-ナフチルアミン					
97-56-3	o-アミノアゾトルエン					
99-55-8	2-アミノ-4-ニトロトルエン					
106-47-8	p-クロロアニリン					
615-05-4	2,4-ジアミノアニソール					
101-77-9	4,4'-ジアミノジフェニルメタン					
91-94-1	3,3'-ジクロロベンジジン					
119-90-4	3,3'-ジメチルキシベンジジン					
119-93-7	3,3'-ジメチルベンジジン					
838-88-0	3,3'-ジメチル-4,4'-ジアミノジフェニルメタン					
120-71-8	p-クレジジン					
101-14-4	4,4'-メチレン-ビス-(2-クロロアニリン)					
101-80-4	4,4'-オキシジアニリン					
139-65-1	4,4'-チオジアニリン					
95-53-4	o-トルイジン					
95-80-7	2,4-トルイレンジアミン					
137-17-7	2,4,5-トリメチルアニリン					
95-68-1	2,4 キシリジン					
87-62-7	2,6 キシリジン					
90-04-0	2-メトキシアニリン (= o-アニシジン)					
60-09-3	p-アミノアゾベンゼン					
3165-93-3	4-クロロ-o-トルイジン塩酸塩					
553-00-4	2-ナフトレンアミン酢酸塩					
39156-41-7	4-メトキシ-m-フェニレンジアノモニウム硫酸塩					
21436-97-5	2,4,5-トリメチルアニリン塩酸塩					

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>ビスフェノール類 +</b>						
80-05-7	ビスフェノール-A (BPA)	1 ppm 口と接触することを意図したものに適用されます。	BPAは、エポキシ樹脂、ポリカーボネート樹脂、難燃剤、PVCなどの製造に使用されることがあります。BPSはBPAの代替品として使用されることがあり、BPFとともにポリアミド染色定着剤、スルホン系およびフェノール系皮革なめし剤に含まれることがあります。BPAとBPSは、ビスフェノール類を含んだポリカーボネート樹脂や感熱記録紙の廃棄物を原料としてリサイクルされた高分子材料や紙材料から、検出される可能性があります。	全ての材料： 抽出：1gサンプル/THF 20ml、60℃で60分間 超音波処理を行い、LC/MSで分析します。	単体試料は、0.1 ppm 複合試料は、1 ppm  各1 ppm	
80-09-1	ビスフェノールS (BPS)	各1000 ppm リストアップされたビスフェノール類は、将来の規制に向けて、該当するすべての材料において、より安全な代替品へ切り替える必要があります。 ※状況把握のため、規制値未滿であっても意図的に使用している製品は「有害物質使用報告書」を提出してください。				
77-40-7	ビスフェノールB (BPB)					
620-92-8	ビスフェノールF (BPF)					
1478-61-1	ビスフェノールAF (BPAF)					
<b>塩素化パラフィン類 +</b>						
85535-84-8	短鎖塩素化パラフィン(SCCPs) (C10-C13)	1000 ppm	皮革の生産において、柔軟剤、難燃剤、加脂剤などに使われることがあります。またポリマー生産において、可塑剤として用いられることもあります。	皮革： ISO 18219-1:2021 (SCCP) ISO 18219-2:2021 (MCCP) 繊維とその他の全ての材料： ISO 22818:2021 (SCCP + MCCP)	100 ppm	
85535-85-9	中鎖塩素化パラフィン(MCCPs) (C14-C17)	1000 ppm			100 ppm	
<b>クロロフェノール類 +</b>						
15950-66-0	2,3,4-トリクロロフェノール(TriCP)	各0.5 ppm	クロロフェノールはポリ塩化合物で、防腐剤や殺虫剤として使用されます。ペンタクロロフェノール (PCP)とテトラクロロフェノール (TeCP)、トリクロロフェノール (TriCP)は、綿を栽培する際や、生地を保管/輸送する際に、カビ防止剤や殺虫剤として使用されることがあります。また、PCPとTeCP、TriCPは染色用のりやその他の化学混合物の缶内の防腐剤として使用されることもあります。	全ての材料： DIN 50009:2021	各0.5 ppm	
933-78-8	2,3,5-トリクロロフェノール(TriCP)					
933-75-5	2,3,6-トリクロロフェノール(TriCP)					
95-95-4	2,4,5-トリクロロフェノール(TriCP)					
88-06-2	2,4,6-トリクロロフェノール(TriCP)					
609-19-8	3,4,5-トリクロロフェノール(TriCP)					
4901-51-3	2,3,4,5-テトラクロロフェノール(TeCP)					
58-90-2	2,3,4,6-テトラクロロフェノール(TeCP)					
935-95-5	2,3,5,6-テトラクロロフェノール(TeCP)					
87-86-5	ペンタクロロフェノール(PCP)とその塩およびエステル類					

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>塩素化ベンゼン類およびトルエン類 +</b>						
95-49-8	2-クロロトルエン	合計: 1 ppm	クロロベンゼンとクロロトルエン (塩素化芳香族炭化水素) は、ポリエステル糸または、ウール/ポリエステル糸の染色工程において、染色助剤として使用されます。また、溶剤として使用されることもあります。防虫剤、ポリ袋などによる二次汚染は、不適合の原因となることがあります。  重要：湾岸協力理事会 (GCC) は、繊維製品中の1,2-ジクロロベンゼンの制限値を1 ppmに設定しています。	全ての材料: EN 17137:2018	各0.2 ppm	
108-41-8	3-クロロトルエン					
106-43-4	4-クロロトルエン					
32768-54-0	2,3-ジクロロトルエン					
95-73-8	2,4-ジクロロトルエン					
19398-61-9	2,5-ジクロロトルエン					
118-69-4	2,6-ジクロロトルエン					
95-75-0	3,4-ジクロロトルエン					
2077-46-5	2,3,6-トリクロロトルエン					
6639-30-1	2,4,5-トリクロロトルエン					
76057-12-0	2,3,4,5-テトラクロロトルエン					
875-40-1	2,3,4,6-テトラクロロトルエン					
1006-31-1	2,3,5,6-テトラクロロトルエン					
877-11-2	ペンタクロロトルエン					
541-73-1	1,3-ジクロロベンゼン					
106-46-7	1,4-ジクロロベンゼン					
87-61-6	1,2,3-トリクロロベンゼン					
120-82-1	1,2,4-トリクロロベンゼン					
108-70-3	1,3,5-トリクロロベンゼン					
634-66-2	1,2,3,4-テトラクロロベンゼン					
634-90-2	1,2,3,5-テトラクロロベンゼン					
95-94-3	1,2,4,5-テトラクロロベンゼン					
608-93-5	ペンタクロロベンゼン					
118-74-1	ヘキサクロロベンゼン					
5216-25-1	p-クロロベンゾトリクロリド					
98-07-7	ベンゾトリクロリド					
100-44-7	塩化ベンジル					
95-50-1	1,2-ジクロロベンゼン	10 ppm			1 ppm	
<b>フマル酸ジメチル +</b>						
624-49-7	フマル酸ジメチル(DMFu)	0.1 ppm	DMFuは、輸送中のカビ発生を防止するために、包装の小袋に入れられる防カビ剤です。	全ての材料: ISO 16186:2021	0.05 ppm	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>染料 (禁止染料 + と分散染料 +)</b>						
2475-45-8	C.I.ディスパースブルー1	各30 ppm	分散染料は、非水溶性の染料で、合成繊維や人造繊維の繊維組織に浸透し、化学的結合ではなく物理的に結合します。 分散染料は、ポリエステル、アセテートやポリアミドなどの合成繊維に使用されます。 規制された分散染料は、アレルギー反応を起こす可能性があるため、繊維の染色に使用することが禁止されています。	全ての材料:DIN 54231:2022.	各15 ppm	
2475-46-9	C.I.ディスパースブルー3					
3179-90-6	C.I.ディスパースブルー7					
3860-63-7	C.I.ディスパースブルー26					
56524-77-7	C.I.ディスパースブルー35A					
56524-76-6	C.I.ディスパースブルー35B					
12222-97-8	C.I.ディスパースブルー102					
12223-01-7	C.I.ディスパースブルー106					
61951-51-7	C.I.ディスパースブルー124					
23355-64-8	C.I.ディスパースブラウン1					
2581-69-3	C.I.ディスパースオレンジ1					
730-40-5	C.I.ディスパースオレンジ3					
82-28-0	C.I.ディスパースオレンジ11					
12223-33-5	C.I.ディスパースオレンジ37/76/59					
13301-61-6						
51811-42-8						
85136-74-9	C.I.ディスパースオレンジ149					
2872-52-8	C.I.ディスパースレッド1					
2872-48-2	C.I.ディスパースレッド11					

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>染料, 続き</b>						
3179-89-3	C.I.ディスパースレッド17	各30 ppm	分散染料は、非水溶性の染料で、合成繊維や人造繊維の繊維組織に浸透し、化学的結合ではなく物理的に結合します。 分散染料は、ポリエステル、アセテートやポリアミドなどの合成繊維に使用されます。 規制された分散染料は、アレルギー反応を起こすことが可能性があるため、繊維の染色に使用することが禁止されています。	全ての材料: DIN 54231:2022.	各15 ppm	
61968-47-6	C.I.ディスパースレッド151					
119-15-3	C.I.ディスパースイエロー1					
2832-40-8	C.I.ディスパースイエロー3					
6300-37-4	C.I.ディスパースイエロー7					
6373-73-5	C.I.ディスパースイエロー9					
6250-23-3	C.I.ディスパースイエロー23					
12236-29-2	C.I.ディスパースイエロー39					
54824-37-2	C.I.ディスパースイエロー49					
54077-16-6	C.I.ディスパースイエロー56					
3761-53-3	C.I.アシッドレッド26					
569-61-9	C.I.ベーシックレッド9					
569-64-2	C.I.ベーシックグリーン4					
2437-29-8						
10309-95-2						
548-62-9	C.I.ベーシックバイオレット3					
632-99-5	C.I.ベーシックバイオレット14					
2580-56-5	C.I.ベーシックブルー26					
1937-37-7	C.I.ダイレクトブラック38					
2602-46-2	C.I.ダイレクトブルー6					
573-58-0	C.I.ダイレクトレッド28					
16071-86-6	C.I.ダイレクトブラウン95					
60-11-7	4-ジメチルアミノアゾベンゼン (ソルベントイエロー2)					
6786-83-0	C.I.ソルベントブルー4					
561-41-1	4メチルアミノ-4',4''-ビス(ジメチルアミノ)トリフェニルメタノール					
<b>染料 (ネイビーブルー) +</b>						
118685-33-9	成分1: C <sub>39</sub> H <sub>23</sub> ClCrN <sub>7</sub> O <sub>12</sub> S <sub>2</sub> Na	各30 ppm	ネイビーブルー着色料は規制されており、繊維の染色に使用することは禁止されています。 インデックス: 611-070-00-2	全ての材料: DIN 54231:2022.	各15 ppm	
割り当てなし	成分2: C <sub>46</sub> H <sub>30</sub> CrN <sub>10</sub> O <sub>20</sub> S <sub>2</sub> ·3Na					

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	
<b>難燃剤</b> †						
84852-53-9	デカブロモジフェニルエタン(DBDPE)	各10 ppm	ごく限られた例外を除き、有機ハロゲン系難燃剤を含む難燃性物質は、生産工程において材料に使用されるべきではありません。 ここに記載した難燃性物質の例は、フットウエアおよびアパレル業界で過去に使用された難燃剤の例です。 この業界に適用されない他の難燃剤は、ストックホルム条約とオース議定書によって世界的に規制されており、欧州連合では POPs 規則により運用されています。 不純物、副産物、汚染物質を考慮して10 ppmの制限を設定しています。 難燃剤は、他の用途、例えば軟化剤や可塑剤に使用してはいけません。	全ての材料: EN ISO 17881-1:2016	各5 ppm	
32534-81-9	ペンタブロモジフェニルエーテル (ペンタBDE)					
32536-52-0	オクタブロモジフェニルエーテル (オクタBDE)					
1163-19-5	デカブロモジフェニルエーテル (デカBDE)					
40088-47-9	テトラブロモジフェニルエーテル (TetraBDE)					
36483-60-0	ヘキサブロモジフェニルエーテル (HexaBDE)					
68928-80-3	ヘプタブロモジフェニルエーテル (HeptaBDE)					
多種	その他すべてのポリブロモジフェニルエーテル類 (PBDEs)					
79-94-7	テトラブロモビスフェノール A (TBBP A)					
59536-65-1	ポリブロモビフェニル (PBB)					
3194-55-6	ヘキサブロモシクロドデカン (HBCDD)					
3296-90-0	2,2-ビス(プロモメチル)-1,3-プロパンジオール (BBMP)					
13674-87-8	リン酸トリス(1,3-ジクロロ-2-プロピル) (TDCPP)					
25155-23-1	リン酸トリキシリル (TXP)					
126-72-7	リン酸トリス(2,3-ジプロモプロピル) (TRIS)					
545-55-1	トリス(1-アジリジニル)ホスフィンオキシド (TEPA)					
115-96-8	リン酸トリス(2-クロロエチル) (TCEP)					
5412-25-9	リン酸ビス(2,3-ジプロモプロピル) (BDBPP)					
<b>フッ素系温室効果ガス</b> †						
多種	EU規則 NO.517/2014 のリスト参照	各 0.1 ppm	使用禁止。 発泡剤、溶剤、難燃剤、エアゾールの噴射剤として使用される可能性があります。	サンプルの準備: バージ・トラップ分析-加熱脱離 または SPME 測定: GC/MS	各 0.1 ppm	



CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	
<b>ホルムアルデヒド +</b>						
50-00-0	ホルムアルデヒド	大人/子供: 75 ppm 乳幼児: 16 ppm	繊維品において、しわ防止剤や収縮防止剤として使用されます。また、しばしば高分子樹脂材料に使用されます。 重要：アラブ首長国連邦（UAE）の内閣決議（54）は、子供用繊維製品に含まれるホルムアルデヒドを20ppmに制限しています。	皮革を除く全ての材料： JIS L 1041-2011 A（日本規格112） または、EN ISO 14184-1:2011 皮革： EN ISO 17226-2:2019、干渉が起きた場合の確認方法として EN ISO 17226-1:2021 もしくは、EN ISO 17226-1:2021 を単独で行う。	16 ppm	
<b>重金属（ジュエリー以外）溶出 + と総含有量 +</b>			<b>韓国KCマークの溶出性重金属の個別要求事項については、付表Aを参照すること。</b>			
7440-36-0	アンチモン (Sb)	溶出: 30 ppm	ポリエステル製の重合触媒、難燃剤、安定剤、顔料や合金で使用または検出されることがあります。	皮革を除く全ての材料： DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019	溶出: 3 ppm	
7440-38-2	ヒ素 (As)	溶出: 0.2 ppm 総含有量: 100 ppm	ヒ素とその化合物は、綿、合成繊維、ペイント、インク、トリムやプラスチックにおける、防腐剤、殺虫剤や枯葉剤などに使用されます。	溶出： 皮革を除く全ての材料： DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019 総含有量： 皮革を除く全ての材料： DIN EN 16711-1:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-2:2019	溶出: 0.1 ppm 総含有量: 10 ppm	
7440-39-3	バリウム (Ba)	溶出: 1000 ppm	バリウムとその化合物は、インクやプラスチック、表面コーティング、染料、媒染剤、プラスチックの充填剤、繊維の仕上げ、皮革のなめしにおける顔料などに使用されます。	皮革を除く全ての材料： DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019	溶出: 100 ppm	
7440-43-9	カドミウム (Cd)	溶出: 0.1 ppm 総含有量: 40 ppm	カドミウム化合物は、顔料（特に 赤、オレンジ、黄、緑など）、PVCの安定剤、肥料、殺虫剤やペイントなどに使用されます。	溶出： 皮革を除く全ての材料： DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019 総含有量： 皮革を除く全ての材料： DIN EN 16711-1:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-2:2019	溶出: 0.05 ppm 総含有量: 5 ppm	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
重金属 (ジュエリー以外), 続き			韓国KCマークの溶出性重金属の個別要求事項については、付表Aを参照すること。			
7440-47-3	クロム (Cr)	溶出: 繊維: 大人/子供: 2 ppm 乳幼児: 1 ppm	クロム化合物は、染料の添加物、染料の固着剤、加工後の染色堅牢度向上剤、ウール/シルク/ポリアミド (特に濃色) の染料や、皮革のなめしに使用されます。	繊維: DIN EN 16711-2:2016 皮革: EN ISO 17072-1:2019	溶出: 0.5 ppm	
18540-29-9	六価クロム +	溶出: 皮革: 3 ppm 繊維: 1 ppm	六価クロムは、皮革のなめしによく使われることは知られていますが、ウールの染色において、クロミング加工の後処理の際にも使われます。(クロム塩を酸性染料で染めたウールに添加することで堅牢度が向上するからです)	繊維: DIN EN 16711-2:2016 もしクロムが検出された場合は、EN ISO 17075-1:2017を行います。 皮革: EN ISO 17075-1:2017 もし抽出の際に干渉が起こった場合は、EN ISO 17075-2:2017もを行います。または、EN ISO 17075-2:2017を単独で使用することもできます。 エージングテスト: ISO 10195:2018 A2法を各ブランドの裁量で行います。	溶出: 皮革: 3 ppm 繊維: 0.5 ppm	
7440-48-4	コバルト (Co)	溶出: 大人: 4 ppm 子供/乳幼児: 1 ppm	コバルトとその化合物は、合金、顔料、染料、またプラスチックボタンの生産工程で使用されます。	皮革を除く全ての材料: DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019	溶出: 0.5 ppm	
7440-50-8	銅 (Cu)	溶出: 大人: 50 ppm 子供/乳幼児: 25 ppm	銅とその化合物は、抗菌剤として、合金、顔料、繊維などから検出されます。 銅は、金属部品においては制限値の対象外とします。	皮革を除く全ての材料: DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019	溶出: 5 ppm	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	
重金属 (ジュエリー以外), 続き			韓国KCマークの溶出性重金属の個別要求事項については、付表Aを参照すること。			
7439-92-1	鉛 (Pb)	溶出: 大人: 1 ppm 子供/乳幼児: 0.2 ppm 総含有量: 90 ppm	合金、プラスチック、ペイント、インク、顔料、表面コーティングなどに関連している可能性があります。クリスタル (鉛ガラス) は、鉛総含有量制限値の対象外とします。	溶出: 皮革を除く全ての材料: DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019 総含有量: 非金属: CPSC-CH-E1002-08.3 金属: CPSC-CH-E1001-08.3 ペンキおよび表面コーティングにおける鉛: CPSC-CH-E1003-09.1	溶出: 0.2 ppm 総含有量: 10 ppm	
7439-97-6	水銀 (Hg)	溶出: 0.02 ppm 総含有量: 0.5 ppm	水銀化合物は、殺虫剤や、苛性ソーダ (NaOH)の汚染物質として存在します。ペイントに使用されることもあります。また、塗料や、PUやPVCに使用される塩化ビニルの製造における触媒として使用されることがあります。	溶出: 皮革を除く全ての材料: DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019 総含有量: 皮革を除く全ての材料: DIN EN 16711-1:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-2:2019	溶出: 0.02 ppm 総含有量: 0.1 ppm	
7440-02-0	ニッケル (Ni) +	溶出: 1 ppm リリース(金属部分): 長時間肌に接する場合: 0.5 µg/cm <sup>2</sup> /week 眼鏡フレーム: 0.5 µg/cm <sup>2</sup> /week	ニッケルとその化合物は、メッキ用合金、耐食性向上、合金の硬度向上などに使われます。また、それらは顔料や合金の不純物として発生します。	溶出: 皮革を除く全ての材料: DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019 リリース: EN 12472:2020と EN 1811:2011+A1:2015 リリース (眼鏡フレーム): EN 16128:2015	溶出: 0.1 ppm リリース: 0.5 µg/cm <sup>2</sup> /week	
7782-49-2	セレン (Se)	溶出: 500 ppm	合成繊維、ペイント、インク、プラスチック、金属装飾などで検出される可能性があります。	皮革を除く全ての材料: DIN EN 16711-2:2016 皮革: DIN EN ISO 17072-1:2019	溶出: 50 ppm	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>重金属 (ジュエリー)</b>		ジュエリーやウェアラブルの試験サンプル準備においては、 EN 1811:2011+A1:2015に準じ、(試験対象以外の)皮膚接触を意図していない部分にワックスが塗布される。				
7440-36-0	アンチモン (Sb)	ペイント & コーティング: 溶出: 60 ppm	アンチモンとその化合物は、染料の難燃剤としてだけでなく、顔料の着色剤としても使用できます。	ASTM F963-17 as referenced in ASTM F2923:2020	溶出: 5 ppm	
7440-38-2	ヒ素 (As)	ペイント & コーティング: 溶出: 25 ppm	ヒ素とその化合物は、ペイントとインクに使用されます。	ASTM F963-17 as referenced in ASTM F2923:2020	溶出: 5 ppm	
7440-39-3	バリウム (Ba)	ペイント & コーティング: 溶出: 1000 ppm	バリウムとその化合物は、インクの顔料に使用されます。	ASTM F963-17 as referenced in ASTM F2923:2020	溶出: 100 ppm	
7440-43-9	カドミウム (Cd)	基板、ペイント & コーティング: 総含有量: 大人: 75 ppm 子供: 40 ppm	カドミウムとその化合物は、顔料として使用されます (特に赤、オレンジ、黄色、緑)。合金の硬度を改善する際に使用され、汚染物質として検出されることもあります。	ASTM F963-17 as referenced in ASTM F2923:2020	総含有量: 5 ppm	
7440-47-3	クロム (Cr)	ペイント & コーティング: 溶出: 60 ppm	クロム化合物は、染料の添加物、染料の固着剤、加工後の染色堅牢度向上剤、ウール/シルク/ポリアミド (特に濃色) の染料や、皮革のなめしに使用されます。	ASTM F963-17 as referenced in ASTM F2923:2020	溶出: 5 ppm	
7439-92-1	鉛 (Pb)	基板、ペイント & コーティング: 総含有量: 90 ppm	鉛とその化合物は、プラスチック、塗料、インク、顔料、および表面コーティングに関連している場合があります。また、金属中に汚染物質として含まれています。クリスタル (鉛ガラス) は、鉛総含有量制限値の対象外とします。	ASTM F963-17 as referenced in ASTM F2923:2020	総含有: 10 ppm	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>重金属 (ジュエリー), 続き</b>						
7439-97-6	水銀 (Hg)	ペイント & コーティング: 溶出: 60 ppm	水銀とその化合物はペイントに使用されることがあり、合金や金の溶出過程で使用されるため、汚染物質として検出されることがあります。	ASTM F963-17 as referenced in ASTM F2923:2020	溶出: 5 ppm	
7440-02-0	ニッケル (Ni) +	リリース (金属部分): 長時間肌に接する場合: 0.5 µg/cm <sup>2</sup> /week ピアス部分: 0.2 µg/cm <sup>2</sup> /week	ニッケルとその化合物は、メッキ用合金、耐食性向上、合金の硬度向上などに使用されます。また、それらは顔料や合金中の不純物として検出されます。	ASTM F963-17 as referenced in ASTM F2923:2020	リリース: 長時間肌に接する場合: 0.5 µg/cm <sup>2</sup> /week ピアス部分: 0.2 µg/cm <sup>2</sup> /week	
7782-49-2	セレン (Se)	ペイント & コーティング: 溶出: 500 ppm	セレンとその化合物は、塗料とインクに含まれている場合があります。	ASTM F963-17 as referenced in ASTM F2923:2020	溶出: 50 ppm	
<b>モノマー +</b>						
100-42-5	スチレン (未反応モノマー)	500 ppm	スチレンモノマーは重合のための前駆体物質であり、プラスチックボタンなどの、さまざまなスチレンの共重合体に存在することがあります。 未反応のスチレンモノマーは制限されており、それ以外のスチレンは制限されていません。	メタノール抽出 GC/MS、超音波処理 60℃ 60分	50 ppm	
75-01-4	塩化ビニル	1 ppm	塩化ビニルモノマーは重合のための前駆体物質であり、プリント、コーティング、ビーチサンダル、合成 (人工) 皮革など、さまざまなPVC物質の中に存在することがあります。	EN ISO 6401:2008	1 ppm	
<b>N-ニトロソアミン +</b>						
62-75-9	N-ニトロソジメチルアミン (NDMA)	各 0.5 ppm	ゴムの生産工程における副産物として生成されます。	EN ISO 19577:2019 with LC/MS/MS verification if positive	各 0.5 ppm	
55-18-5	N-ニトロソジエチルアミン (NDEA)					
621-64-7	N-ニトロソジプロピルアミン (NDPA)					
924-16-3	N-ニトロソジブチルアミン (NDBA)					
100-75-4	N-ニトロソピペリジン (NPPI)					
930-55-2	N-ニトロソピロリジン (NPYR)					
59-89-2	N-ニトロソモルホリン (NMOR)					
614-00-6	N-ニトロソメチルフェニルアミン (NMPHA)					
612-64-6	N-ニトロソエチルフェニルアミン (NEPHA)					

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限值	2024/2/5
<b>有機スズ化合物 +</b>						
多種	ジブチルスズ (DBT)	各 1 ppm	<p>スズとブチル基やフェニル基などの有機物とを組み合わせた化学物質類です。</p> <p>有機スズは、ほとんどの場合、船舶の防汚用塗料などの環境中で検出されます。また、殺生物剤（たとえば抗菌剤）、プラスチックや接着剤を生産するときの触媒、プラスチックやゴムの熱安定剤などにも使用されます。</p> <p>繊維製品やアパレル品関連では、有機スズは、プラスチック、ゴム、インク、塗料、金属製光沢装飾部材、ポリウレタン製品、熱転写品などで検出されることがあります。</p>	<p>全ての材料： CEN ISO/TS 16179:2012 または EN ISO 22744-1:2020</p>	各 0.1 ppm	
多種	ジオクチルスズ (DOT)					
多種	モノブチルスズ (MBT)					
多種	トリシクロヘキシルスズ (TCyHT)					
多種	トリメチルスズ (TMT)					
多種	トリオクチルスズ (TOT)					
多種	トリプロピルスズ (TPT)	各 0.5 ppm				
多種	トリブチルスズ (TBT)					
多種	トリフェニルスズ (TphT)					
<b>オルトフェニルフェノール +</b>						
90-43-7	オルトフェニルフェノール (OPP)	1000 ppm	オルトフェニルフェノールは、皮革の防腐剤や、ポリエステル染色工程の染色助剤として使用されま す。	全ての材料： DIN50009:2021	100 ppm	
<b>オゾン層破壊物質 +</b>						
多種	EC規則 No 1005/2009参照	5 ppm	<p>使用禁止。</p> <p>オゾン層破壊物質は、かつてはPUの発泡剤や、ドライクリーニングの溶剤などに使用されていました。</p>	全ての材料： GC/MS ヘッドスペース 120℃ 45分	5 ppm	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限值	2024/2/5
<b>過フッ素化合物とポリフッ素化合物 (規制対象のPFCS/PFAS) +</b>			<b>付表Bリスト参照</b>			
多種	全有機フッ素で測定したすべてのPFAS	50 ppm	世界中の規制では、アパレル/フットウェアへのPFASの使用を禁止しています。(一部または全部の免除が認められています。) PFASは、市販のはっ水・撥油・防汚剤や、PTFEなどの湿気を除去する透湿膜に使用されることがあります。PFASが意図的な使用、または汚染により制限レベルを超えて存在するかどうかを確認するために、PFAS物質とCAS番号のリスト化した付表Bを参照。	EN 14582:2016 または ASTM D7359:2018  全ての材料: EN ISO 23702-1 または、 EN 17681-1:2022と 17681-2:2022	合計50ppm	
多種	パーフルオロオktanスルホン酸 (PFOS) と関連物質	合計 1 ppm			合計 1 ppm	
多種	パーフルオロオktan酸 (PFOA) とその塩	合計 25ppb			合計 25ppb	
多種	PFOA関連物質	合計 1000 ppb			合計 1000 ppb	
多種	パーフルオロヘキサスルホン酸 (PFHxS) とその塩	合計 25 ppb			合計 25 ppb	
多種	PFHxS関連物質合	合計 1000 ppb			合計 1000 ppb	
多種	C9-C14パーフルオロカルボン酸 (PFCAs) とその塩	合計 25 ppb			合計 25 ppb	
多種	C9-C14 PFCAs関連物質	合計 260 ppb			合計 260 ppb	
多種	その他のパーフルオロアルキルオロカルボン酸 (PFCA)	情報提供のみを目的としています。AFIRMは、含有レベルを調査するための試験を推奨しています。			合計 100 ppb	
<b>殺虫剤と除草剤, 農薬 +</b>			<b>付表Cリスト参照</b>			
多種	付表Cリスト参照	各 0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	全ての材料: ISO 15913/DIN 38407 F2 または EPA 8081/EPA 8151A または BVL L 00.00-34:2010-09	各 0.5 ppm	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>フタル酸エステル類 †</b>						
28553-12-0	フタル酸ジイソノニル (DINP)	各 500 ppm 合計: 1000 ppm	オルト-フタル酸エステル (フタル酸エステル類) は、一連の有機化合物であり、一般的に、プラスチックの可塑性を上げるために添加されます。また、溶解温度を下げることで、プラスチックの成形を容易にするために使用されます。 フタル酸エステル類は、次のような場合に検出されることがあります。 柔軟性のあるプラスチック (例えばPVC)、 擦染のり、接着剤、プラスチックボタン、プラスチック部品、ポリマーコーティング など	全ての材料におけるサンプルの準備: CPSC-CH-C1001-09.4 測定: 繊維: GC-MS, EN ISO 14389:2014 (7.1 プリントの重量だけに基づく計算、 7.2 もしプリントを除去できない場合、プリントと繊維の合計に基づく計算。) 繊維を除く全ての材料: GC/MS	各 50 ppm	
117-84-0	フタル酸ジ-n-オクチル (DNOP)					
117-81-7	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル) (DEHP)					
26761-40-0	フタル酸ジイソデシル (DIDP)					
85-68-7	フタル酸ベンジルブチル (BBP)					
84-74-2	フタル酸ジブチル (DBP)					
84-69-5	フタル酸ジイソブチル (DIBP)					
84-75-3	フタル酸ジ-n-ヘキシル (DnHP)					
84-66-2	フタル酸ジエチル (DEP)					
131-11-3	フタル酸ジメチル (DMP)					
131-18-0	フタル酸ジ-n-ペンチル (DPENP)					
84-61-7	フタル酸ジシクロヘキシル (DCHP)					
71888-89-6	1,2-ベンゼンジカルボン酸 (炭素数7を主成分とする炭素数6~8(分岐のみ)) フタル酸エステル類					
117-82-8	フタル酸ビス(2-メトキシエチル)					
605-50-5	フタル酸ジイソペンチル (DIIPP)					
131-16-8	フタル酸ジプロピル (DPRP)					
27554-26-3	フタル酸ジイソオクチル (DIOP)					
68515-50-4	1,2-ベンゼンジカルボン酸ジヘキシル(分岐および直鎖)エステル					
71850-09-4	フタル酸ジイソヘキシル (DIHxP)					
68515-42-4	1,2-ベンゼンジカルボン酸ジアルキル(炭素数7~11の分岐および直鎖)エステル (DHNUP)					
84777-06-0	1,2-ベンゼンジカルボン酸ジペンチル(分岐および直鎖)エステル					
68648-93-1	1,2-ベンゼンジカルボン酸、ジ-C6-10-アルキルエステル類 又は、デシル & ヘキシル & オクチル混合物ジエステル類 と0.3%以上のフタル酸ジヘキシル;					
68515-51-5	1,2-ベンゼンジカルボン酸、デシル & ヘキシル & オクチル混合物ジエステル類; 1,2-ベンゼンジカルボン酸、ジ-C6-10-アルキルエステル類					
776297-69-9	フタル酸 n-ペンチル-イソペンチル (nPIPP)					



CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>多環式芳香族炭化水素 (PAHs) +</b>						
83-32-9	アセナフテン	①個々の規制値はない ① + ②合計: 10 ppm	多環芳香族炭化水素 (PAHs) は、原油に含まれる天然成分であり、石油精製における一般的な残留物です。PAHsは、車のタイヤやアスファルトなどに似た独特の臭いがします。PAHsを含む原油残留物は、ゴムやプラスチックの軟化剤や増量剤として添加されるため、ゴム、プラスチック、ラッカー、コーティングなどから検出されることがあります。また、PAHsは、フットウェアのアウトソールや、スクリーンプリントの捺染用のりからもしばしば検出されます。多環芳香族炭化水素 (PAHs) は、カーボン・ブラックの不純物として存在することもあります。リサイクル物質を再加工する際の熱分解により、生成されることがあります。	全ての材料: AFPS GS 2019 or EN 17132 or ISO 16190	各 0.2 ppm	
208-96-8	アセナフチレン					
120-12-7	アントラセン					
191-24-2	ベンゾ(g,h,i)ペリリン					
86-73-7	フルオレン					
206-44-0	フルオランテン					
193-39-5	インデノ(1,2,3-cd)ピレン					
91-20-3	ナフタレン **					
85-01-8	フェナントレン					
129-00-0	ピレン	②各 1 ppm 育児用品: 各 0.5 ppm ① + ②合計: 10 ppm	**ナフタレン: 繊維染料用の分散剤には、低品質のナフタレン誘導体 (例えば、品質の悪いナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合生成物) を使用しているため、残留ナフタレン濃度が高くなる場合があります。			
56-55-3	ベンゾ(a)アントラセン					
50-32-8	ベンゾ(a)ピレン					
205-99-2	ベンゾ(b)フルオランテン					
192-97-2	ベンゾ[e]ピレン					
205-82-3	ベンゾ[j]フルオランテン					
207-08-9	ベンゾ(k)フルオランテン					
218-01-9	クリゼン	50 ppm	ポリエステルといくつかの染料の不純物として検出されます。 試験方法が同じであるため、キノリンは分散染料の試験に含めることができます	全ての材料: DIN 54231:2022, 70°C でメタノール抽出	10 ppm	
53-70-3	ジベンゾ(a,h)アントラセン					
<b>キノリン +</b>						
91-22-5	キノリン					

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>溶剤と残留物 +</b>						
68-12-2	ジメチルホルムアミド (DMFa)	500 ppm	DMFaはプラスチック、ゴム、ポリウレタン (PU) コーティングの溶剤として使用されます。水性PUにはDMFaは含まれないので推奨します。	繊維: EN 17131:2019 その他の全ての材料: ISO 16189:2021	各 50 ppm	
75-12-7	ホルムアミド	各 1000 ppm	EVAフォーム生産時の副産物です。 台湾CNS 15493: BSMI (台湾・經濟部標準検局) は、消費者保護法により、ヨガマットの制限値を200ppmで運用する場合があります。			
127-19-5	ジメチルアセトアミド (DMAC)		DMACは弾性糸の生産時に使われる溶剤です。また、DMFaの代用として使用されます。			
872-50-4	N-メチル-2-ピロリドン (NMP)		水性ポリウレタンや他の高分子材料の生産時に使われる工業用溶剤です。また、繊維、樹脂、金属コーティングされたプラスチックなどの表面加工やペイントの除去剤としても使用されます。			
<b>紫外線 (UV) 吸収剤 / 安定剤 +</b>						
3846-71-7	UV 320 2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ブチルフェノール	各 1000 ppm	パッド用の連続気泡のPUフォームの素材です。プラスチック (PVC、PET、PC、PA、ABSやその他のポリマー)、ゴム、ポリウレタンの紫外線 (UV) 吸収剤として使用されます。	ISO 24040 with (THF 抽出、GC/MSによる分析)	各100 ppm	
3864-99-1	UV 327 2-(3,5-ジ-tert-ブチル-2-ヒドロキシフェニル)-5-クロロベンゾトリアゾール					
25973-55-1	UV 328 2-(3,5-ジ-tert-アミル-2-ヒドロキシフェニル)ベンゾトリアゾール					
36437-37-3	UV 350 2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4-(1,1-ジメチルエチル)-6-(1-メチルプロピル)フェノール					
2440-22-4	ドメトリゾール	基準値はありません。 情報提供のみを目的としています。	プラスチック (PVC、PET、PC、PA、ABSやその他のポリマー) ゴム、ポリウレタンの紫外線 (UV) 吸収剤として使用されます。			

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>揮発性有機化合物 (VOCs) +</b>						
71-43-2	ベンゼン	5 ppm	<p>これらの揮発性有機化合物 (VOCs)は、繊維製品の補助的化学品の調合剤として使用することはできません。</p> <p>これは、溶剤ベースのポリウレタンコーティングや接着剤、糊などの溶剤で使用されます。機材のクリーニングや、汚れ落としなどに使用することはできません。</p>	<p>一般的なVOCのスクリーニング: GC/MS ヘッドスペース 45分間、120℃</p>	<p>ベンゼン: 5 ppm その他: 各 20 ppm</p>	
75-15-0	二硫化炭素	合計: 1000 ppm				
56-23-5	四塩化炭素					
67-66-3	クロロホルム					
108-94-1	シクロヘキサノン					
107-06-2	1,2-ジクロロエタン					
75-35-4	1,1-ジクロロエチレン					
100-41-4	エチルベンゼン					
76-01-7	ペンタクロロエタン					
630-20-6	1,1,1,2-テトラクロロエタン					
79-34-5	1,1,2,2-テトラクロロエタン					
127-18-4	テトラクロロエチレン (PERC)					
108-88-3	トルエン					
71-55-6	1,1,1-トリクロロエタン					
79-00-5	1,1,2-トリクロロエタン					
79-01-6	トリクロロエチレン					
1330-20-7	キシレン (メタ-, オルト-, パラ-)					
108-38-3						
95-47-6						
106-42-3						

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>付表A. 韓国 KC マーク溶出性重金属に関する要求事項</b>						
韓国KCマーク要件は、子供の口に入ることを意図した製品および乳幼児向け製品の表面コーティング/塗料、合成樹脂、紙材料からの重金属の溶出に適用されます。						
7440-36-0	アンチモン (Sb)	60 ppm	ポリエステル重合触媒、難燃剤、安定剤、顔料や合金で使用または検出されることがあります。	ISO 8124-3:2010		
7440-38-2	ヒ素 (As)	25 ppm	ヒ素とその化合物は、綿、合成繊維、ペイント、インク、トリムやプラスチックにおける、防腐剤、殺虫剤や枯葉剤などに使用されます。			
7440-39-3	バリウム (Ba)	1000 ppm	バリウムとその化合物は、インクやプラスチック、表面コーティング、染料、媒染剤、プラスチックの充填剤、繊維の仕上げ、皮革のなめしにおける顔料などに使用されます。			
7440-43-9	カドミウム (Cd)	75 ppm	カドミウム化合物は、顔料 (特に赤、オレンジ、黄、緑など)、PVCの安定剤、肥料、殺虫剤やペイントなどに使用されます。			
7440-47-3	クロム (Cr)	60 ppm	クロム化合物は、染料の添加物、染料の固着剤、加工後の染色堅牢度向上剤、ウール/シルク/ポリアミド (特に濃色) の染料や、皮革のなめしに使用されます。			
7439-92-1	鉛 (Pb)	90 ppm	銅とその化合物は、抗菌剤として、合金、顔料、繊維などから検出されます。銅は、金属部品においては制限値の対象外とします。			
7439-97-6	水銀 (Hg)	60 ppm	水銀化合物は、殺虫剤や、苛性ソーダ (NaOH) の汚染物質として存在します。また、塗料や、PUやPVCに使用される塩化ビニルの製造における触媒として使用されることがあります。			
7782-49-2	セレン (Se)	500 ppm	合成繊維、ペイント、インク、プラスチック、金属装飾などで検出される可能性があります。			

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>付表 B. 有機フッ素化合物 (PFAS)</b>						
<b>PFOS と関連物質</b>						
<b>このリストは、PFASの一部の物質を記述しており、すべてを網羅するものではありません。PFASが検出された場合、意図的な使用、または重大な汚染を示唆します</b>						
1763-23-1	パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	合計 1 ppm	-	全ての材料： EN ISO 23702-1または、 EN 17681-1:2022と 17681-2:2022	合計1ppm	
2795-39-3	パーフルオロオクタンスルホン酸 カリウム (PFOS-K)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
29457-72-5	パーフルオロオクタンスルホン酸 リチウム (PFOS-Li)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
29081-56-9	パーフルオロオクタンスルホン酸 アンモニウム (PFOS-NH4)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
70225-14-8	パーフルオロオクタンスルホン酸 ジエタノールアミン (PFOS-NH(OH)2)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
56773-42-3	パーフルオロオクタンスルホン酸 テトラエチルアンモニウム (PFOS-N(C2H5)4)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
251099-16-8	Didecylidimethyl ammonium perfluorooctane sulfonate (PFOS-N(C10H21)2(CH3)2)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
4151-50-2	N-エチルパーフルオロ-1-オクタンスルホンアミド (N-Et-FOSA)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
31506-32-8	N-メチルパーフルオロ-1-オクタンスルホンアミド (N-Me-FOSA)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
1691-99-2	2-(N-エチルパーフルオロ-1-オクタンスルホンアミド)-エタノール (N-Et-FOSE)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
24448-09-7	2-(N-メチルパーフルオロ-1-オクタンスルホンアミド)-エタノール (N-Me-FOSE)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
307-35-7	パーフルオロ-1-オクタンスルホニルフルオリド (POSF)	合計 1 ppm	-		合計1ppm	
754-91-6	パーフルオロオクタンスルホンアミド (PFOSA)	合計 1 ppm	-	合計1ppm		

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>PFOA とその塩</b>						
335-67-1	パーフルオロオクタン酸 (PFOA)	合計25 ppb	-	全ての材料： EN ISO 23702-1または、 EN 17681-1:2022と 17681-2:2022	合計25 ppb	
335-95-5	パーフルオロオクタン酸 ナトリウム (PFOA-Na)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
2395-00-8	パーフルオロオクタン酸 カリウム (PFOA-K)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
335-93-3	パーフルオロオクタン酸 銀 (PFOA-Ag)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
335-66-0	パーフルオロオクタノイル フルオリド (PFOA-F)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
3825-26-1	パーフルオロオクタン酸 アンモニウム (APFO)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
<b>PFOA関連物質</b>						
39108-34-4	1H,1H,2H,2H-パーフルオロデカンスルホン酸 (8:2 FTS)	合計1000 ppb	-	全ての材料： EN ISO 23702-1または、 EN 17681-1:2022と 17681-2:2022	合計1000 ppb	
376-27-2	パーフルオロオクタン酸メチル (Me-PFOA)	合計1000 ppb	-		合計1000 ppb	
3108-24-5	パーフルオロオクタン酸エチル (Et-PFOA)	合計1000 ppb	-		合計1000 ppb	
678-39-7	2-パーフルオロオクチルエタノール (8:2 FTOH)	合計1000 ppb	-		合計1000 ppb	
27905-45-9	アクリル酸1H,1H,2H,2H-パーフルオロデシル (8:2 FTA)	合計1000 ppb	-		合計1000 ppb	
1996-88-9	メタクリル酸1H,1H,2H,2H-パーフルオロデシル (8:2 FTMA)	合計1000 ppb	-		合計1000 ppb	
27854-31-5	2H,2H-パーフルオロデカン酸 (H2PFDA)	合計1000 ppb	-		合計1000 ppb	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>PFHxSとその塩</b>						
355-46-4	パーフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	合計25 ppb	-	全ての材料： EN ISO 23702-1または、 EN 17681-1:2022と 17681-2:2022	合計25 ppb	
3871-99-6	パーフルオロヘキサンスルホン酸カリウム (PFHxS-K)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
55120-77-9	パーフルオロヘキサンスルホン酸リチウム (PFHxS-Li)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
68259-08-5	パーフルオロヘキサンスルホン酸アンモニウム (PFHxS-NH4)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
82382-12-5	パーフルオロヘキサンスルホン酸ナトリウム (PFHxS-Na)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
<b>PFHxS関連物質</b>						
68259-15-4	N-メチルパーフルオロ-1-ヘキサンスルホンアミド (N-Me-FHxSA)	合計1000 ppb	-	全ての材料： EN ISO 23702-1または、 EN 17681-1:2022と 17681-2:2022	合計1000 ppb	
41997-13-1	パーフルオロヘキサンスルホンアミド (PFHxSA)	合計1000 ppb	-		合計1000 ppb	
<b>C9-C14 PFCAsとその塩</b>						
375-95-1	パーフルオロノナン酸 (PFNA, C9-PFCA)	合計25 ppb	-	全ての材料： EN ISO 23702-1または、 EN 17681-1:2022と 17681-2:2022	合計25 ppb	
335-76-2	パーフルオロデカン酸 (PFDA, C10-PFCA)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
2058-94-8	パーフルオロウンデカン酸 (PFUnA, C11-PFCA)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
307-55-1	パーフルオロドデカン酸 (PFDoA, C12-PFCA)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
72629-94-8	パーフルオロトリデカン酸 (PFTrA, C13-PFCA)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
376-06-7	パーフルオロテトラデカン酸 (PFTeA, C14-PFCA)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	
172155-07-6	パーフルオロ-3,7-ジメチルオクタン酸 (PF-3,7-DMOA)	合計25 ppb	-		合計25 ppb	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
<b>C9-C14 PFCA関連物質</b>						
17741-60-5	アクリル酸1H,1H,2H,2H-パーフルオロドデシル (10:2 FTA)	合計260 ppb	-	全ての材料： EN ISO 23702-1または、 EN 17681-1:2022と 17681-2:2022	合計260 ppb	
2144-54-9	メタクリル酸1H,1H,2H,2H-パーフルオロドデシル (10:2 FTMA)	合計260 ppb	-		合計260 ppb	
865-86-1	1H,1H,2H,2H-パーフルオロ-1-ドデカノール (10:2 FTOH)	合計260 ppb	-		合計260 ppb	
34598-33-9	2H,2H,3H,3H-パーフルオロウンデカン酸 (H4PFUnA)	合計260 ppb	-		合計260 ppb	
678-39-7	1H,1H,2H,2H-パーフルオロ-1-デカノール (8:2 FTOH)	合計260 ppb	-		合計260 ppb	
39239-77-5	1H,1H,2H,2H-パーフルオロ-1-テトラデカノール (12:2 FTOH)	合計260 ppb	-		合計260 ppb	
120226-60-0	1H,1H,2H,2H-パーフルオロドデカンスルホン酸 (10:2 FTS)	合計260 ppb	-		合計260 ppb	
2043-54-1	ヨウ化1H,1H,2H,2H-パーフルオロドデシル (10:2 FTI)	合計260 ppb	-		合計260 ppb	
30046-31-2	ヨウ化1H,1H,2H,2H-パーフルオロテトラドデシル (12:2 FTI)	合計260 ppb	-		合計260 ppb	
<b>その他の パーフルオロカルボン酸 (PFCAs)</b>						
307-24-4	パーフルオロヘキサン酸 (PFHxA, C6-PFCA)	-	-	全ての材料： EN ISO 23702-1または、 EN 17681-1:2022と 17681-2:2022	合計100 ppb	



CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
付表 C. 殺虫剤と除草剤, 農薬						
93-72-1	2-(2,4,5-トリクロロフェノキシ)プロピオン酸 (その塩と化合物); 2,4,5-TP	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	全ての材料： ISO 15913/DIN 38407 F2または EPA 8081/EPA 8151Aまたは BVL L 00.00-34:2010-09	0.5 ppm	
93-76-5	2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸 (2,4,5-T)	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
94-75-7	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 (2,4-D)	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
309-00-2	アルドリノ	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
86-50-0	アジンホスエチル	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
2642-71-9	アジンホスエチル	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
4824-78-6	プロモホスエチル	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
2425-06-1	カプタホール	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
63-25-2	カルバリル	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
510-15-6	クロルベンジラート	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	0.5 ppm		

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂	
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5	
付表 C. 殺虫剤と除草剤、農薬 続き							
57-74-9	クロロダン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	全ての材料： ISO 15913/DIN 38407 F2または EPA 8081/EPA 8151Aまたは BVL L 00.00-34:2010-09	0.5 ppm		
6164-98-3	クロルジメホルム	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm		
470-90-6	クロルフェンピホス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm		
1897-45-6	クロロタロニル	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm		
56-72-4	クマホス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm		
68359-37-5	シフルトリン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm		
91465-08-6	シハロトリン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm		
52315-07-8	シベルメトリン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm		
78-48-8	S,S,S-トリブチルホスホトリチオエート (トリブホス)	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm		
52918-63-5	デルタメトリン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm		
53-19-0	DDD	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。			0.5 ppm	
72-54-8							

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
付表 C. 殺虫剤と除草剤、農薬 続き						
3424-82-6	DDE	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	全ての材料： ISO 15913/DIN 38407 F2または EPA 8081/EPA 8151Aまたは BVL L 00.00-34:2010-09	0.5 ppm	
72-55-9						
50-29-3	DDT	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
789-02-6						
333-41-5	ダイアジノン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
1085-98-9	ジクロルアニド	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
120-36-5	ジクロルプロップ	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
115-32-2	ジコホル	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
141-66-2	ジクロトホス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
60-57-1	デイルドリン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
60-51-5	ジメトエート	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
88-85-7	ジノセブ その塩と酢酸塩	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
63405-99-2	DTTB (4, 6-ジクロル-7 (2,4,5-トリクロロフェノキシ) -2-トリフルオロメチルベンズイミダゾール)	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
115-29-7	エンドスルファン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
959-98-8	エンドスルファンI	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
33213-65-9	エンドスルファンII	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
付表 C. 殺虫剤と除草剤、農薬 続き						
72-20-8	エンドリン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	全ての材料： ISO 15913/DIN 38407 F2または EPA 8081/EPA 8151Aまたは BVL L 00.00-34:2010-09	0.5 ppm	
66230-04-4	エスフェンバレレート	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
106-93-4	二臭化エチレン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
56-38-2	エチルパラチオン; パラチオン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
51630-58-1	フェンバレレート	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
多種	ハロゲン化ナフタレン (ポリ塩化ナフタレン類 (PCNs)を含む)	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
76-44-8	ヘプタクロル	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
1024-57-3	ヘプタクロルエポキシド	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
319-84-6	リンデンを含むあるいは含まない α-ヘキサクロロシクロヘキサン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
319-85-7	リンデンを含むあるいは含まない β-ヘキサクロロシクロヘキサン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
319-86-8	リンデンを含むあるいは含まない δ-ヘキサクロロシクロヘキサン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	0.5 ppm		
118-74-1	ヘキサクロロベンゼン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	0.5 ppm		

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
付表 C. 殺虫剤と除草剤、農薬 続き						
465-73-6	イソドリン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	全ての材料： ISO 15913/DIN 38407 F2または EPA 8081/EPA 8151Aまたは BVL L 00.00-34:2010-09	0.5 ppm	
4234-79-1	ケレバン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
143-50-0	ケボン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
58-89-9	リンデン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
121-75-5	馬拉チオン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
94-74-6	(4-クロロ-2-メチルフェノキシ)酢酸	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
94-81-5	4-(4-クロロ-2-メチルフェノキシ)ブタン酸	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
93-65-2	メコプロップ	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
10265-92-6	メタミドホス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
72-43-5	メトキシクロル	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
2385-85-5	マイレックス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
6923-22-4	モノクロトホス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
298-00-0	メチルパラチオン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
1825-21-4	ペンタクロロアニソール	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
7786-34-7	ホストリン / メビンホス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	0.5 ppm		

CAS No.	物質	制限値	可能性のある用途	推奨テスト法	報告限界値	改訂
		最終製品における構成部材			テスト結果報告の下限値	2024/2/5
付表 C. 殺虫剤と除草剤、農薬 続き						
72-56-0	ベルタン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。	全ての材料： ISO 15913/DIN 38407 F2または EPA 8081/EPA 8151Aまたは BVL L 00.00-34:2010-09	0.5 ppm	
31218-83-4	プロバタンホス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
41198-08-7	プロフェノホス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
13593-03-8	キナルホス	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
82-68-8	キントゼン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
8001-50-1	ストロバン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
297-78-9	テロドリン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
8001-35-2	トキサフェン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
731-27-1	トリルフルアニド	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	
1582-09-8	トリフルラリン	0.5 ppm	天然繊維、特に綿から検出されることが多いです。		0.5 ppm	

## SECTION 2 : その他の制限事項

CAS No.	制限物質リスト	コンプライアンス要求
多種	カリフォルニア州 プロポジション 65物質/California Prop 65 <a href="http://www.oehha.ca.gov/proposition">www.oehha.ca.gov/proposition</a>	材料や製品にこれらのリストのいずれかに該当する物質が含有する場合、サプライヤーは良品計画に通知すること。
多種	EU REACH高懸念物質 (SVHCs)/EU-REACH Substance of Very High Concern List <a href="https://www.echa.europa.eu/candidate-list-table">https://www.echa.europa.eu/candidate-list-table</a>	良品計画は、EUの化学物質規制であるREACHに基づく高懸念物質 (SVHC) リストの遵守をお取引先様にお願しています。 材料や製品にこれらのリストのいずれかに該当する物質が0.1%(w/w)以上含有する場合、サプライヤーは直ちに良品計画に通知すること。